

令和5年5月22日

報道機関各位

青森県 県土整備部 都市計画課

「第15回ふるさとあおもり景観賞」受賞作品の決定と  
「景観フォーラム」開催のお知らせ

県では平成8年に青森県景観条例を制定し、県民にゆとりと潤いをもたらす良好な景観を有する県土の実現に取り組んでおり、県内の良好な景観づくりに貢献しているまちなみ、建築物、地域活動等を表彰する「第15回ふるさとあおもり景観賞」を募集し、この度最優秀賞作品が決定しましたのでお知らせします。

また受賞作品は下記日時で開催される「景観フォーラム」で表彰します。

今年度の景観フォーラムは「景観と地域活性化」をテーマに、11ぴきのねこを活用した三戸町、仮面ライダーやサイボーグ009などの漫画題材を活用した宮城県石巻市、野口英世青春時代ゆかりの地で歴史景観まちづくりを行う福島県会津若松市の取り組みを基調講演し、各講演者と弘前大学特任教授北原啓司氏によるパネルディスカッションを行います。

## 記

- 日時：令和5年6月6日（火）14：00～17：10
- 場所：会場参加：青森市アウガ5階男女共同参画プラザ・カダールAV多機能ホール  
（〒030-0801 青森市新町1丁目3番7号）  
オンライン参加：YouTubeによるライブ配信  
※フォーラムの各プログラムは後日動画配信も予定。
- 内容：別紙チラシのとおり

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	県土整備部 都市計画課 都市計画・景観グループ 総括主幹 楠美 一誠
電話番号	直通：017-734-9681 内線：6775
報道監	県土整備部次長 類家 正剛

## ふるさとあおもり景観賞

県では、県内の良好な景観づくりに貢献しているまちなみ景観やまちづくり活動を表彰することによって青森の魅力ある景観形成への県民意識を高め、美しい景観づくりに寄与することを目的とした「ふるさとあおもり景観賞」を主催しております。

このたび、応募総数 17 件の中から第 15 回ふるさとあおもり景観賞が決定しましたのでお知らせします。

〈各部門の応募件数〉

まちなみ部門 2 件（対象 1 件） 土木施設部門 1 件 公共建築物部門 7 件

民間建築物部門 5 件 屋外広告物部門 2 件 地域づくり活動部門 0 件（対象 1 件）

※審査会時に審査員の意向により、審査部門が変更になった作品があります。

第 15 回ふるさとあおもり景観賞受賞作品リスト

部 門	賞	受 賞 作 品
まちなみ部門	最優秀賞	小川原湖公園の千本桜（東北町）
公共建築物部門	最優秀賞	松の湯交流館（黒石市）
民間建築物部門	最優秀賞	Circle こみせ（黒石市）
	最優秀賞	SHIZUKU CAFE（藤崎町）
	最優秀賞	kaneshichi+（佐井村）
地域づくり活動部門	最優秀賞	旧一戸時計店（弘前市）

## まちなみ部門 最優秀賞

### 小川原湖公園の千本桜

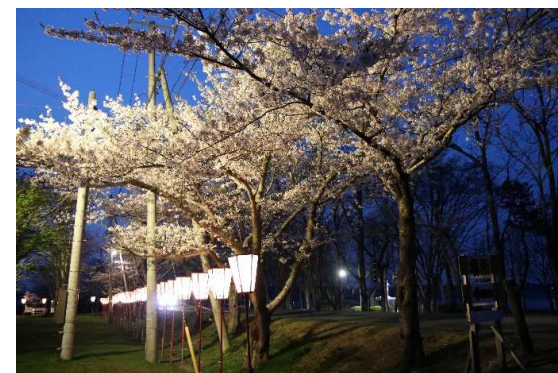
受賞者 東北町

所在地 東北町

#### 《受賞理由》

小川原湖公園の千本桜は、同時期に植樹した約千本の桜が均一な樹高を保ち、例年4月下旬の満開期には約1.3kmの桜トンネルとなります。

家族連れなどの歩行者がゆっくり見て回れる千本の桜の名所として維持されており、よりよいまちなみを創出していることを評価し、本賞を授与します。



## 公共建築物部門 最優秀賞

### 松の湯交流館

受賞者 黒石市

設計者 株式会社アルキメディア設計研究所

所在地 黒石市

#### 《受賞理由》

松の湯交流館は、屋根から突き出る松の巨木が印象的な外観で、中町こみせ通りのシンボリック存在です。

かつては地域の人々に愛された銭湯でしたが、平成5年にその役割を終え、現在は市民の憩いの場や観光客向けの案内所、さらには誘客イベントの会場などとして市内外問わず多くの人に親しまれています。

住民や訪れる人にとって居心地の良い空間を創出していることから、本賞を授与します。



## 民間建築物部門 最優秀賞

さーくる

### Circleこみせ

受賞者 株式会社須藤善石油店

設計者 ゲンジアーキ 古川正敏

所在地 黒石市

#### 《受賞理由》

Circleこみせは、こみせ通りの入口となる角地の古いビルです。平成27年の閉店からシャッターが閉じておりましたが、この度、新しい事業を始めたい人向けのチャレンジショップとしてリノベーションされ、現在はパン屋さんやコーヒー屋台、大学生が日替わりで集まり、週末は人で賑わいます。

空家店舗をリノベーションし、シャッター街再生の良い事例が示されたこと、このような事例が増えていくことを期待し、本賞を授与します。



## 民間建築物部門 最優秀賞

しずく かふえ  
SHIZUKU CAFE

受賞者 SHIZUKU CAFE

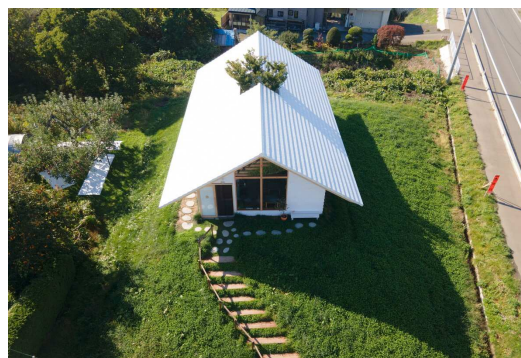
設計者 葛西 瑞都(株式会社mizuiro architects)

所在地 藤崎町

### 《受賞理由》

SHIZUKU CAFEは丘の上に建つ白い平屋の建築物です。もともと平らであった土地に高さ2mの丘を造成しその上に建築物が配置され、店舗中央にはケヤキが植えられています。

自ら景観を創出した事例が示されたことを評価し、本賞を授与します。



## 民間建築物部門 最優秀賞

かねしちぷらす

### kaneshichi+

受賞者 日本で最も小さくかわいい漁村づくり推進  
プロジェクトチーム

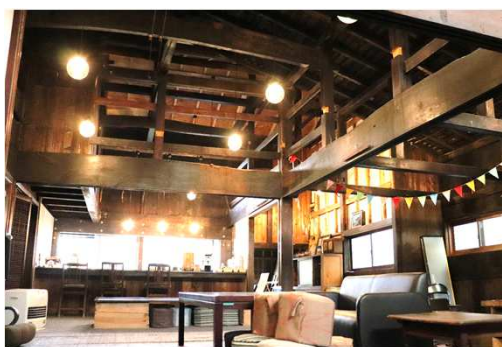
設計者 合同会社 富樫雅行建築設計事務所

所在地 佐井村

#### 《受賞理由》

kaneshichi+は、築約150年の古民家を所有者や村民の協力のもと、コワーキングスペースとしてリノベーションしたものであり、村内外の人が気軽に集まれる拠点として活用されています。

空家店舗をリノベーションして活用された事例であり、村の中心施設としての将来性に期待し、本賞を授与します。



## 地域づくり活動部門 最優秀賞

### 旧一戸時計店

受賞者 弘前中土手町商店街振興組合

所在地 弘前市

#### 《受賞理由》

弘前市民にとって、土手町のランドマークとして親しまれてきた「一戸時計店」は、平成30年から空き家となり滅失の可能性がでたことで、中土手町商店街振興組合が中心となり、保存活動を行いました。市補助金では足りなかった改修費用は、地域住民がクラウドファンディングやオリジナルTシャツの販売によって調達され、改修後は中土手町商店街振興組合の事務所として利活用されることとなりました。

市民活動が建築物の保存再生につながった本活動に敬意を表し、本賞を授与します。

【弘前市土手町】明治時代から続く時計台を残そう!

Hiro\_nakadote3 まちづくり・地域活性化 青森県



青森県弘前市土手町にある明治時代から残っている「一戸時計店」2018年店主が逝去されました。家業を継ぐ方がおらず空き店舗になり、このままでは建物が朽ちてしまう！この状況を解決する為商店街組合として建物取得、改修、維持管理しよう立ち上がりました。

シェア ツイート LINEで送る URLコピー QRコード 埋め込み

ホーム 活動報告 2 支援者 574 コメント 0

<NEXT CHALLENGE 目標 5,500,000円 挑戦中!!>

皆様のご支援 頂き100%達成致しました。ありがとうございます。  
ただ実際の金額はもう少し上にあります。  
残り日数僅かですがネクストチャレンジしたいと思います。

NEXT CHALLENGE 目標額 550万円

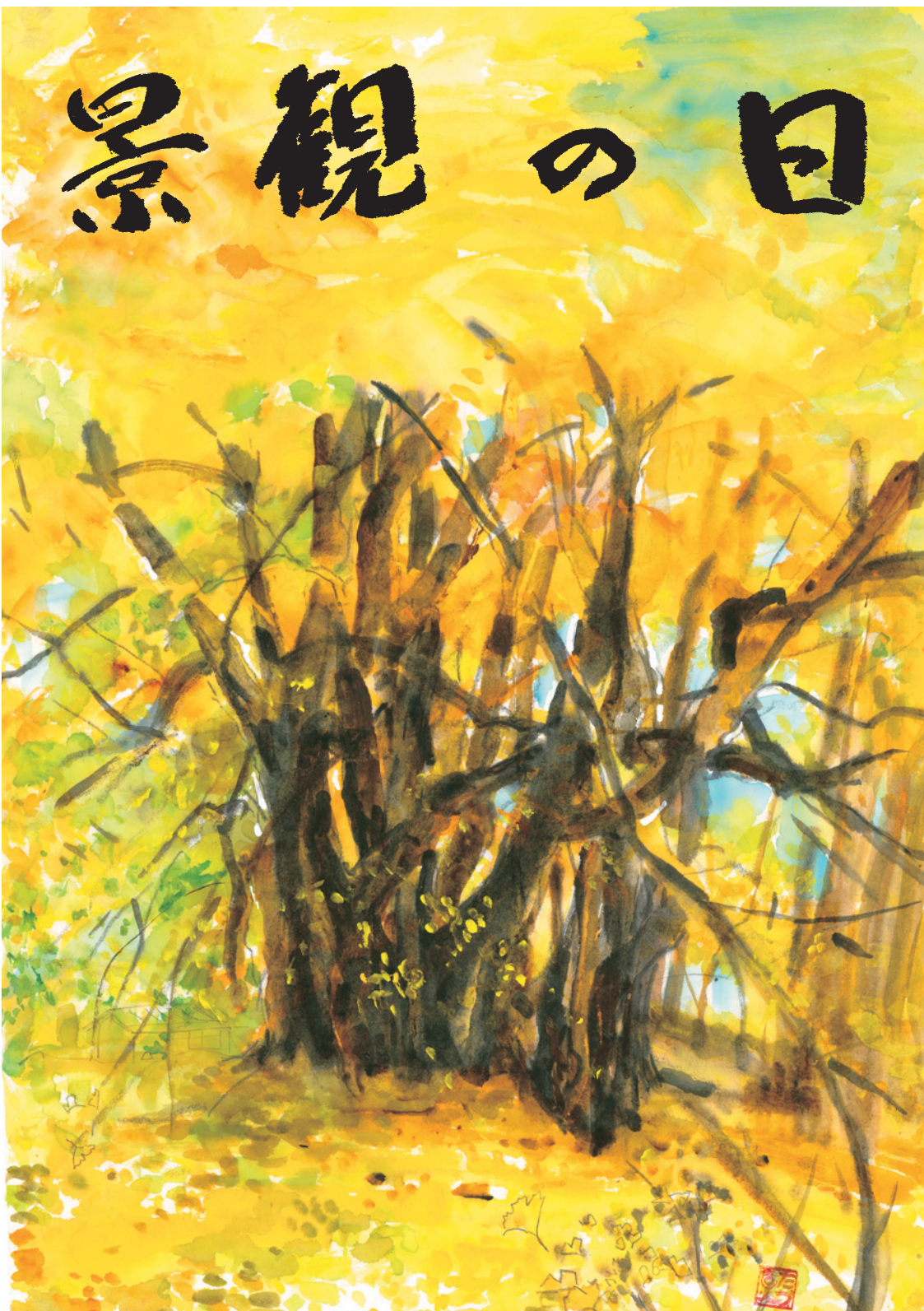
皆様もう少しだけお付き合いください。  
よろしくお祈りします。





# 景観の日

# 景観フォーラム開催



千年の大銀杏 (深浦町) 張山田鶴子 画

開催時間14:00~17:10 (開場13:30)

場所/会場参加: 青森市アウガ5階男女共同参画プラザ・カダール AV多機能ホール  
〒030-0801 青森県青森市新町1丁目3番7号

オンライン参加: YouTubeによる生配信  
(参加申込後、ご登録いただいたメールアドレスへ、当日のURLをお送りします。)

**入場無料** 令和5年6月6日(火)

## ●基調講演

明戸 一樹 氏  
(青森県 三戸町 まちづくり推進課 主査)  
「11ぴきのねこのまちづくり」

苅谷 智大 氏  
(宮城県 石巻市 株式会社街づくりまんぼう 街づくり事業部長)  
「石巻における萬画によるまちづくり」

稲村 久美 氏  
(福島県 会津若松市 一般社団法人 AIZUGATE 理事)  
「印象に残るまちづくり」

## ●「第15回ふるさとあおもり景観賞」表彰式

## ●パネルディスカッション 「景観と地域活性化」

コーディネーター/北原 啓司 氏 パネリスト/明戸 一樹 氏、苅谷 智大 氏、稲村 久美 氏

この機会にふるさと青森の景観について考えてみませんか



景観ホームページ

主催 青森県 問合せ先 青森県県土整備部都市計画課 都市計画・景観グループ TEL 017-734-9681 FAX 017-734-8196

この印刷物は4,000部作成し、印刷経費は1部当たり14.85円です。

基調講演

「11ぴきのねこのまちづくり」  
明戸 一樹 (あけと かずき)

1990年生まれ。2016年度三戸町役場入庁し、まちづくり推進課に配属、「11ぴきのねこ」のまちづくりに携わる。三戸町出身の漫画家である馬場のぼる氏の人気絵本「11ぴきのねこ」シリーズを活用し、「11ぴきのねこのまち さんのへ」を全国に向けて強力にPRするため、11ぴきのねこラッピングバス・トレインの運行や町内街路灯へのフラッグの取付け、ほのぼの館のリニューアル、ふるさと納税特製お礼品の開発、その他イベントの開催などに従事。

基調講演

「石巻における萬画によるまちづくり」  
荻谷 智大 (かりや ともひろ)

1985年愛知県生まれ。東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了後、2013年に石巻市へ移住。日本学術振興会特別研究員を経て2015年株式会社街づくりまなぼうに入社。東日本大震災後の中心市街地のマスタープランづくり、空き地を活用したI・Uターン者のチャレンジショップ「橋通りCOMMON」の企画運営、北上川の河川堤防の利活用、都市再生整備計画の事業検討業務などに携わる。マンガを活かしたまちづくりとして、マンガキャラクターとコラボレーションした地元商品の開発、キャラクターモニュメントの制作、シャッターアートプロジェクトなども行う。博士(工学)。

基調講演

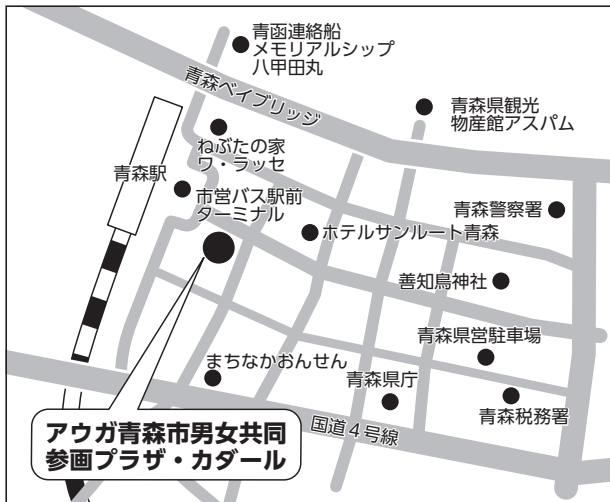
「印象に残るまちづくり」  
稲村 久美 (いなむら くみ)

1967年生まれ。短大卒業後地元テレビ局入社。会津支社勤務となり事務から報道のサポートなど幅広く経験した。2011年東日本大震災発生直後には女性4人でプロジェクトチームを結成し被災者支援活動を開始。同年株式会社まちづくり会津に入社。チャレンジショップ事業、被災者コミュニティ事業などに携わる。商店街活性化事業では、まちゼミを始め、福島県商業まちづくり課による「ふくしまの子ふるさとの商店街活性化事業」を受託。こどもから高齢者まで集えるカフェを開店し現在も継続営業している。2019年まちづくり会社を退職し飲食店経営者となる。2020年8月まちづくり団体一般社団法人AIZUGATEを設立。現在は会津若松市より花と緑を通した地域コミュニティを作り豊かなまちづくり業務を受託し地域づくり活動を展開している。

パネルディスカッション 「景観と地域活性化」

コーディネーター 北原 啓司 / パネリスト 明戸 一樹、荻谷 智大、稲村 久美

青森市アウガ5階 男女共同参画プラザ・カダールまでのアクセス



所在地

〒030-0801  
青森県青森市新町1丁目3番7号  
アウガ青森市男女共同参画プラザ・カダール  
AV多機能ホール  
TEL 017-776-8800 FAX 017-776-8828

アクセス

JR青森駅より徒歩1分

※公共交通機関をご利用の上、ご来館ください。

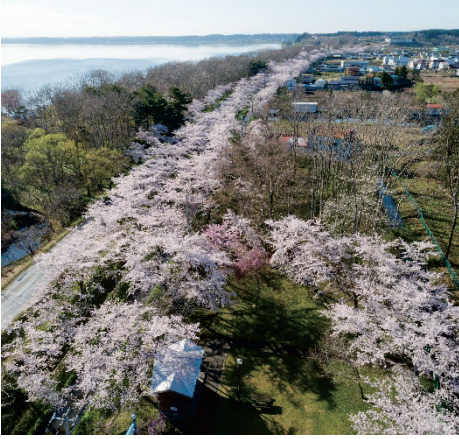
令和5年度景観フォーラム参加申込書

氏名	勤務先	参加方法 (会場・オンライン)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス (正確にご記入ください)

何名様でもお申込みできます。  
こちらにご記入いただいたメールアドレスへ当日のオンライン会場のURLをお送りします。  
オンライン会場にて参加ご希望の方は、忘れずにご記入ください。

令和5年5月31日(水)までにFAXまたはE-mailでお申込みください。

申込先 1. FAX 017-734-8196  
2. Eメール toshikei@pref.aomori.lg.jp



第15回 まちなみ部門 最優秀賞  
「小川原湖公園の千本桜」



第15回 公共建築物部門 最優秀賞  
「松の湯交流館」



第15回 地域づくり活動部門 最優秀賞  
「旧一戸時計店」



第15回 民間建築物部門 最優秀賞  
「Circleこみせ」



第15回 民間建築物部門 最優秀賞  
「SHIZUKU CAFE」



第15回 民間建築物部門 最優秀賞  
「kaneshichi+」

# 第16回ふるさとあおもり景観賞

(まちなみ部門・土木施設部門・公共建築物部門・民間建築物部門・屋外広告物部門・地域づくり活動部門)

**最優秀賞受賞作品の応募者に  
クオカード5,000円分を贈呈!**

**募集期間  
令和5年6月1日～令和6年1月31日**

応募先 青森県県土整備部都市計画課  
郵送 〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号  
メール toshikei@pref.aomori.lg.jp  
TEL 017-734-9681

応募する部門、応募者の氏名、住所、  
電話番号、Eメール、応募物件等の  
名称、住所、アピールポイント、写真  
を郵送かメールでお送りください。

景観賞HPへ



詳しい内容や応募方法はこちらのサイトでチェック! **青森県景観賞 検索**



第14回 土木施設部門  
最優秀賞「Park DAIKANYAMA」



第14回 屋外広告物部門  
最優秀賞「東通村集落案内看板」



第14回 地域づくり活動部門 最優秀賞  
「青森県立弘前工業高等学校建築科第3学年模型制作班  
(ミニチュア建造物修理)」

# 第16回ふるさとあomorい景観賞応募要項

## まちなみ部門

市街地、住宅街、歴史的町並み、里山、田園などで良好な景観を形成している地区（自然景観を除く）

## 土木施設部門

道路、橋梁、河川、港湾、公園などで、景観に配慮した施設

## 公共建築物部門

デザイン性に優れ、意匠、形態などが周囲の雰囲気や環境に調和した建築物、空き家の再生やリノベーションにより景観の改善に寄与している建築物、ストリートファニチャー（街灯やベンチなども含む）

## 民間建築物部門

## 屋外広告物部門

周辺の環境と調和し、地域的美観の向上に寄与している屋外広告物（看板、案内板等含む）

## 地域づくり活動部門

良好な景観のまちづくりを目的とした個人又は団体による活動

※ご応募いただいた写真等は景観の普及啓発に無償で活用させていただきます。

### 【表 彰】各部門ごとに最優秀賞を原則1点選定し、表彰します

- ・受賞物件の所有者・管理者へは賞状と副賞を授与、設計者へは賞状を授与いたします。
- ・最優秀賞の応募者にはクオカード5,000円分を贈呈（自治体等は除く）いたします。
- ・審査結果は令和6年4月下旬に通知いたします。

### 【応募方法】

○自薦他薦は問いません。

○複数の応募が可能です。

※但し、過去に同様の受賞歴があったものは対象外とします。

○景観賞ホームページより募集用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、メール(8MB以内)又は郵送でお送りください。

※写真は、遠景、近景、周辺景観との関係がわかるものを複数枚添付してください。

(一枚だけでは、審査できないことがあります。)

※地域づくり活動部内での応募には、活動内容のわかる資料を併せていただきますようお願いいたします。

○応募写真等の返却はいたしません。

○景観賞ホームページで過去の受賞作品の閲覧が可能です。

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/toshikei/keikanshou.html>)

景観賞HPへ



【応募先】青森県県土整備部都市計画課 住所：〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号  
メール：toshikei@pref.aomori.lg.jp